

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業等の効果検証

○地方創生推進タイプ

- 1 自転車で出かけたくなるまちづくり～「カーボン・マイナス・シティ」宣言をした山
県市におけるサステナブル・サイクルツーリズム推進事業～
- 2 「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業
- 3 「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシ
ティ事業

○拠点整備タイプ

- 1 山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業
- 2 (仮称)山県市グリーンプラザみやま多目的交流拠点施設整備事業
- 3 山県バスターミナル賑わい創出プラットフォーム整備事業
- 4 『観て・食べて・体験して！自然体験ゾーン』形成に伴う「ハリヨ公園」リニューアル
事業

○デジタル実装タイプ

- 1 公共施設のDX化に向けた3本柱事業
- 2 スマート図書館整備事業
- 3 市民向け行政サービスをまとめてDX事業
- 4 有線テレビケーブルを活用した農業用水利施設の遠隔監視と水門の遠隔操作

○まち・ひと・しごと創生寄附活用事業(企業版ふるさと納税)

【効果検証 審議概要】

(令和7年7月25日 令和7年度第1回山県市総合計画審議会及び第22回山県市まち・ひと・しごと創生会議
合同会議委員意見から)

- ・国の交付金を受けているので、適正な検証結果を出していないといけない。
- ・基本的にはKPIと著しく乖離したものはなく、こういう形で進めていただければとい
う理解でいいのかと思う。

1 自転車が出かけたくなるまちづくり～「カーボン・マイナス・シティ」宣言をした山県市におけるサステナブル・サイクルツーリズム推進事業～

事業期間	令和 5 年度	～	令和 7 年度					
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内観光地を自転車で周遊する仕組みを構築し、観光客の市内滞在時間の長期化を図る ・特産品を活用した新商品等の開発を行い、サイクリングロードの付加価値向上を図る ・市の主な観光資源である「歴史」・「自然」・「食」を効果的にPRすることにより、周遊観光を促進させ、広域的な経済の好循環を目指す 							
事業費 (千円)		R5	R6	R7			計	
	決算額又は計画額	15,094	40,772	41,302			97,168	
	交付金	7,547	20,386	20,651			48,584	
事業概要	<p>○サイクルツーリズム計画の策定、魅力的なサイクリングコースの提案及び映像によるPRを実施</p> <p>○特産品（利平栗、伊自良大実柿等）を活用した新商品等を開発し、名古屋や東京など大都市圏でのPRを実施</p> <p>○名古屋圏からサイクリストを呼び込み交流人口の増加を図る</p> <p>○美濃国最大級の山城、かつ美濃国守護であった土岐氏最後の居城「大桑城跡」の認知度向上のため、城跡でのイベントに自転車関連の特設ブースを設置するなどサイクルツーリズムとの連携を図る</p>							
事業目標 (KPI)	①観光入込客数（人、年度計）							
		R4(基準値)	R5	R6	R7			
	KPI(増加分)	－	28,746	16,000	16,000			
	目標値(実数)	－	622,000	638,000	654,000			
	実績値(実数)	593,254	588,892	604,243				
	対前年比	－	-4,362	15,351				
	②地域資源を活用した新商品・新メニューの開発件数（件）							
		R4(基準値)	R5	R6	R7			
	KPI(増加分)	－	1	3	3			
	目標値(実数)	－	1	4	7			
	実績値(実数)	0	3	9				
	対前年比	－	3	6				
	③レンタサイクル利用者数（人）							
		R4(基準値)	R5	R6	R7			
	KPI(増加分)	－	7	10	450			
目標値(実数)	－	310	320	770				
実績値(実数)	303	225	385					
対前年比	－	-78	160					
事業成果、得られた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・山県市自転車活用推進計画、サイクリングコース4コース策定。自転車イベントで2,000人以上集客 ・山県ポーノパーク等を使った新商品を3品開発して市内で販売。新商品開発支援補助金を交付したことで新商品6品の開発を支援した。 ・サイクリング動画7本作成。合計視聴回数43万回越え ・栗まつりにて大桑城PRの他武将隊によるステージイベント、バーチャルサイクリング体験など行い、幅広い世代にPRできた。 							

2 「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業

事業期間	令和 3 年度	～	令和 7 年度					
目的 (効果)	「恋人の聖地」を設置している市町村が広域で連携することで、単独では実現の困難な著名人の招致や民間事業者から参画を得やすいポータルプラットフォームの構築を実現、大都市圏に向けた情報発信。各事業関連資源のブランド化・再構築を図り、SNS等に向けたコンテンツ化を推進することにより、地域資源をデジタル情報価値のある魅力的なものに高め、観光振興による交流人口の増加に加え、関係人口の増加を図り、移住・定住による地方への人の流れを生み出すことを目指す。 参加市町村：大阪府貝塚市ほか17自治体							
事業費 (千円) 山縣市分		R3	R4	R5	R6	R7		計
	決算額又は計画額	35,533	36,253	36,638	36,723	38,156		183,303
	交付金	17,766	18,127	18,319	18,319	19,078		91,609
事業概要	○市町村連携ポータルプラットフォーム協働基盤事業 ○市町村の連携シティプロモーション事業 ○市町村の連携デジタル活用・地域活性化事業							
事業目標 (KPI) 広域全体	①観光入込人数増加目標(人)							
		R1(基準値)	R3	R4	R5	R6	R7	
	KPI(増加分)	－	2,326,000	5,033,000	7,549,000	4,530,000	2,717,000	
	目標値(実数)	－	10,066,000	15,099,000	22,648,000	27,178,000	29,895,000	
	実績値(実数)	7,740,000	10,067,399	15,123,537	22,687,190	27,220,924		
	対前年比	－	2,327,399	5,056,138	7,563,653	4,533,734		
	②ポータルプラットフォームへの投稿数目標(件)							
		R1(基準値)	R3	R4	R5	R6	R7	
	KPI(増加分)	－	810	1,080	1,080	1,080	1,080	
	目標値(実数)	－	810	1,890	2,970	4,050	5,130	
	実績値(実数)	－	2,138	8,246	11,190	13,157		
	対前年比	－	2,138	6,108	2,944	1,967		
	③メディア掲載数目標(件)							
		R1(基準値)	R3	R4	R5	R6	R7	
	KPI(増加分)	－	324	432	432	432	432	
	目標値(実数)	－	324	756	1,188	1,620	2,052	
	実績値(実数)	－	357	1,039	1,861	2,925		
	実績値	－	357	682	822	1,064		
事業成果、得られた知見 ノウハウ	・YouTubeチャンネルで、特産品を首長が持ち寄り、著名人からの評価を競い合う動画を作成。本市の特産品3点を出品したところ、人気投票で3位（51品中）となった特産品もあった。人気投票は、11万件を超える応募があり、スケールメリットを感じ取れた。 ・ホームページ大桑城跡サイト作成、名山めぐり等を実施							

3 「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業

事業期間	令和 4 年度	～	令和 8 年度					
目的 (効果)	市町村の広域連携により、大都市圏の人々との「接点の拡大」、リアル・非リアルを通して「地方志向者との関係の深化」を図り、事業のDX化による「中間支援組織」の業務負担軽減などにより、持続的かつ自走可能な関係人口拡大事業の実施につなげる。また観光振興等による「交流人口の拡大」を通して関係人口の増加を図り、地域内の各産業の「担い手となる人々の拡大」、若者やファミリー層の「移住・定住」につなげ、地方への人の流れを生み出すことができる将来像を目指す。 参加市町村：大阪府泉佐野市ほか13自治体							
事業費 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8		計
山県市分	決算額又は計画額	47,268	55,843	40,847	40,843	40,843		225,644
	交付金	23,631	27,921	20,421	20,421	20,421		112,815
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村連携バーチャルコンパクトシティ共同基盤事業 ○市町村の観光交流促進強化連携事業 ○市町村の関係人口の創出拡大事業 							
事業目標 (KPI) 広域全体	①観光入込人数増加目標(人)							
		R2(基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	
	KPI(増加分)	－	2,300,000	2,500,000	2,750,000	3,000,000	3,200,000	
	目標値(実数)	－	9,820,000	12,320,000	15,070,000	18,070,000	21,270,000	
	実績値(実数)	7,520,000	10,900,912	15,062,397	19,559,104			
	対前年比	－	3,380,912	4,161,485	4,496,707			
	②仮想市民登録数増加目標(件)							
		R2(基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	
	KPI(増加分)	－	1,820	2,380	2,800	4,200	4,900	
	目標値(実数)	－	3,737	6,117	8,917	13,117	18,017	
	実績値(実数)	1,917	3,834	6,331	9,204			
	対前年比	－	1,917	2,497	2,873			
	③地方志向者の魅力度数増加目標(%)							
		R2(基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	
	KPI(増加分)	－	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
	目標値(実数)	－	33.00	36.00	39.00	42.00	45.00	
	実績値(実数)	30.00	51.00	57.96	60.98			
	対前年比	－	21.00	6.96	3.02			
事業成果、得られた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光入込数の増加、地方指向者の魅力度数の増加が図られ、スケールメリットを感じ取れた。 ・山県co-laboプロジェクトを通じて、34団体にパートナー登録いただいた。 ・パートナー向けのセミナーや交流会を通じ、パートナーと協働し市の魅力を発信できた。 ・パートナー同士の交流が生まれビジネスマッチングに繋がる事例も生まれた。 ・中学生ギネス世界記録挑戦事業、創業支援のためのスタートアップ支援事業等を実施。 							

拠点整備タイプ

1 山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業									
事業期間	令和	6	年度						
効果測定期間	令和	6	年度	～	令和	11	年度		
目的 (効果)	本市の北部地域において観光案内施設の整備、体験型アクティビティイベントの企画・運営、観光DXの推進、既存観光地の魅力度・収益アップを図り、北部地域を持続可能な観光地としての姿を目指す。								
事業費 (千円)		R6	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	決算額	51,621	0	0	0	0	0	51,621	
	交付金	25,810	0	0	0	0	0	25,810	
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備 ・デジタルサイネージ設置 ・既存建物の解体工事 								
事業目標 (KPI)	①山県市アウトドアツーリズムセンターの来客数（人）								
		R4(基準値)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
	KPI(増加分)	－	0	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
	目標値(実数)	－	0	100,000	110,000	120,000	130,000	140,000	
	実績値(実数)	－	0						
	対前年比	－	0						
	②体験型アクティビティの利用者数（人）								
		R4(基準値)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
	KPI(増加分)	－	0	1,000	100	100	100	100	
	目標値(実数)	－	0	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	
	実績値(実数)	－	0						
	対前年比	－	0						
	③市内観光入込数（人）								
		R4(基準値)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
	KPI(増加分)	－	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	
	目標値(実数)	－	598,694	615,694	632,694	649,694	666,694	683,694	
	実績値(実数)	581,694	629,860						
	対前年比	－	48,166						
	④市内の観光消費額（百万円）								
		R4(基準値)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
KPI(増加分)	－	92	92	92	92	92	92		
目標値(実数)	－	3,239	3,331	3,423	3,515	3,607	3,699		
実績値(実数)	3,147	－						岐阜県の公表数字を引用しており、毎年公表されるのが11月頃であるため、この時点では計測不能。	
対前年比	－	－							
事業成果、得られた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所（通称：山県アウトドアツーリズムセンター）の整備が完了 ・観光案内所を拠点とした、地域資源（ひと/もの/こと）を整理し顧客ニーズにあった観光コンセプトを策定する。 ・新規コンテンツ（体験事業）等の検証・開発を進め、北部エリアならではの地域観光の磨き上げに繋げることで、更なる観光誘客に期待すると共に、観光誘客によって生じる地域課題についても併せて検討を進める必要がある。 								

拠点整備タイプ

2 (仮称) 山県市グリーンプラザみやま多目的交流拠点施設整備事業

事業期間	令和 4 年度	～	令和 5 年度					
効果測定期間	令和 4 年度	～	令和 8 年度					
目的 (効果)	新たに整備する多目的交流拠点施設は、老朽化や後発の近隣類似施設の増加による利用者減少に対応し、山県市観光のPRポイントである、自然体験機能をさらに魅力的に発信することを目指す。							
事業費 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	計	
	決算額	6,492	79,916	0	0	0	86,408	
	交付金	3,246	39,956	0	0	0	43,202	
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山県市グリーンプラザみやま多目的交流拠点施設 ・建物周りの外構工事 ・グリーンプラザみやまWi-Fi設備及び非接触型決済システムの導入 							
事業目標 (KPI)	①グリーンプラザみやま観光入込客数(人、増加分)							
		R2(基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	
	KPI(増加分)	-	3,320	300	300	300	300	
	目標値(実数)	-	13,000	13,300	13,600	13,900	14,200	
	実績値(実数)	9,680	15,200	16,072	16,048			
	対前年比	-	5,520	872	-24			
	②喫茶miyama hutの飲食販売額(千円、増加分)							
		R2(基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	
	KPI(増加分)	-	0	120	1,300	450	450	
	目標値(実数)	-	400	520	1,820	2,270	2,720	
	実績値(実数)	400	215	192	218			
	対前年比	-	-185	-23	26			
	③大黒山登山者数(人、増加分)							
		R2(基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	
	KPI(増加分)	-	50	50	50	50	50	
	目標値(実数)	-	150	200	250	300	350	
	実績値(実数)	100	200	154	157			
	対前年比	-	100	-46	3			
	④交流人口(年間観光地点別入込客数・年間)(人、増加分)							
		R2(基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	
KPI(増加分)	-	10,900	11,000	11,000	11,000	19,000		
目標値(実数)	-	329,200	340,200	351,200	362,200	381,200		
実績値(実数)	318,300	358,468	356,799	361,670				
対前年比	-	40,168	-1,669	4,871				
事業成果、得られた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的交流拠点施設の供用を令和6年4月1日に開始した。 ・ピザ体験や小中学生対象のイベントで活用されるなど、既存設備では実施することができなかったサービスやイベント開催を実施することができた。 ・交流拠点施設等を含めた山県市の認知度をさらに向上させる必要があるため、官民一体となって観光・交流施設のPRに努める。 							

拠点整備タイプ

3 山県バスターミナル賑わい創出プラットフォーム整備事業

事業期間	令和 2 年度	～	令和 3 年度					
効果測定期間	令和 2 年度	～	令和 6 年度					
目的 (効果)	<p>バスターミナル内に整備する複合施設をプラットフォームとし、バスターミナル周辺の賑わいの創出とそれを市全体への活力と波及させていく。</p> <p>賑わい拠点となる複合施設内においては、市内に点在する観光施設への誘導や観光コンテンツの紹介をする案内所、レストラン、農産物及び農産物加工品製造販売、市内の土産物等の販売を行い魅力向上や賑わいの創出を図る。</p> <p>また、賑わいを増長するために各種イベントや物販の特設販売等を複合施設周辺で行う。さらに、バス利用者のみならず、隣接する国道256号の通過者を呼び込むため、駐車場の整備を行う。</p>							
事業費 (千円)		R2	R3	R4	R5	R6	計	
	決算額	50,000	12,000	0	0	0	62,000	
	交付金	25,000	6,000	0	0	0	31,000	
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所 ・地元の農産物を使ったレストラン ・農産物直売所 ・農産物加工品製造販売所 ・土産物の販売所  							
事業目標 (KPI)	①年間複合施設来客者数（人、増加分）							
		H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	
	KPI(増加分)	－	0	140,000	14,000	7,000	7,000	
	目標値(実数)	－	0	140,000	154,000	161,000	168,000	
	実績値(実数)	－	0	140,672	152,866	140,471	139,979	
	対前年比	－	0	140,672	12,194	-12,395	-492	
	②レストラン・物販売上額（千円、増加分）							
		H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	
	KPI(増加分)	－	0	98,000	9,800	4,900	4,900	
	目標値(実数)	－	0	98,000	107,800	112,700	117,600	
	実績値(実数)	－	0	246,803	232,811	217,792	223,687	
	対前年比	－	0	246,803	-13,992	-15,019	5,895	
	③観光案内利用者数（人、増加分）							
		H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	
	KPI(増加分)	－	0	11,200	1,120	560	560	
	目標値(実数)	－	0	11,200	12,320	12,880	13,440	
実績値(実数)	－	0	2,013	3,594	1,988	2,257		
対前年比	－	0	2,013	1,581	-1,606	269		
事業成果、 得られた知 見ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者により管理運営をすることで賑わい拠点を強くPRすることができた。 ・引き続き官民連携により市内の魅力向上や賑わいの創出を図る。 							

拠点整備タイプ

4 『観て・食べて・体験して！自然体験ゾーン』形成に伴う「ハリヨ公園」リニューアル事業								
事業期間	令和	2	年度					
効果測定期間	令和	2	年度	～	令和	6	年度	
目的 (効果)	<p>公園の観察施設を整備することでハリヨを間近で観察できるようになるため、観察会やワークショップ、講演会を開催することで、ハリヨの知名度を向上させ、ハリヨを目的とした交流人口の増加を図る。また、周辺施設を含めた市内周遊プランを計画し、積極的なPRをするなど地域の交流人口の増加も目指していくことで地域経済の振興を図るとともに地域産業の振興を図る。</p> <p>なお、ハリヨは地域固有の種であり、オスが子育てをするという「イクメン」的な特徴から情操教育に適した魚であるため、学校教育における小中学校等の観察会や近隣大学教授による講演会等を実施し、地域の郷土愛の醸成及びSDGsのゴール15に繋がる環境保全意識の向上も図っていく。</p>							
事業費 (千円)		R2	R3	R4	R5	R6	計	
	決算額	158,631	0	0	0	0	158,631	
	交付金	57,799	0	0	0	0	57,799	
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハリヨ観察施設（模様替） ・トイレ 							
事業目標 (KPI)	①伊自良地域観光施設への交流人口増数（人、増加分）							
		H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	
	KPI(増加分)	－	0	2,000	11,000	13,000	16,000	
	目標値(実数)	－	157,000	159,000	170,000	183,000	199,000	
	実績値(実数)	157,000	117,982	198,611	207,605	216,194	235,847	
	対前年比	－	-39,018	80,629	8,994	8,589	19,653	
	②てんこもり農産物直売所及び体験型いちご園の売上収入増額（千円、増加分）							
		H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	
	KPI(増加分)	－	0	6,000	6,000	6,000	6,000	
	目標値(実数)	－	93,785	99,785	105,785	111,785	117,785	
	実績値(実数)	93,785	86,192	149,030	123,441	130,847	126,719	
	対前年比	－	-7,593	62,838	-25,589	7,406	-4,128	
	事業成果、 得られた知 見ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・ザリガニなどの外来種の駆除を行いハリヨの繁殖しやすい環境整備を行った。 ・近隣の農産物直売所やいちご園などとの相乗効果により、来訪者の滞在時間を長くし、周回型観光へシフトさせ、来訪者の増加を図ることが必要 						

デジタル実装タイプ

1 公共施設のDX化に向けた3本柱事業								
事業期間	令和	6	年度					
効果測定期間	令和	6	年度	～	令和	8	年度	
目的 (効果)	本市における公共施設の予約方法・時間は、窓口や電話・FAXのみの対応となっており、利用者は開設時間内に自らが来庁や電話・FAXをする状況である。また、施設を利用する際には、本市から依頼し鍵を管理保管している鍵管理人宅へ利用者が出向き物理的な鍵の受渡を行っている状況である。そのため本事業をフル活用してDX化を積極的に推進し、利用者の利便性向上と事務の効率化を図る。							
事業費 (千円)		R6	R7	R8				計
	決算額	21,998	0	0				21,998
	交付金	10,999	0	0				10,999
具体 サービス	①公共施設予約・スマートロック連携システム ②クラウド型サイネージシステム ③キャッシュレス決済端末の導入							
事業目標 (KPI)	①公共施設予約システムによる施設利用申請数（件）							
		R6	R7	R8				
	KPI	1,000	8,000	13,000				
	実績値	5,734						
	②サイネージにおけるコンテンツ配信分野数（分野）							
		R6	R7	R8				
	KPI	3	6	12				
	実績値	8						
	③キャッシュレス収納割合（%）							
		R6	R7	R8				
	KPI	10	25	45				
	実績値	6						
	④予約システムに利便性向上を実感した利用者満足度（ポイント）							
		R6	R7	R8				
	KPI	3.00	3.50	4.00				
	実績値	3.27						
	⑤サイネージの情報における満足度（ポイント）							
		R6	R7	R8				
	KPI	3.00	3.50	4.00				
	実績値	3.50						
	⑥キャッシュレス決済の利用者満足度							
		R6	R7	R8				
	KPI	3.00	3.50	4.00				
	実績値	3.46						
事業成 果、得ら れた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設予約・スマートロック連携システムの導入により、いつでも施設予約や空状況の確認ができ、利便性の向上が図れた。また、鍵の管理が容易となり防犯性も高まった。今後は、市内他施設への導入により、利便性を向上させる。 ・クラウド型サイネージシステムの導入により、本庁舎・ふれあいセンター利用者への案内を統一形式で実施した他、市政情報等を映像を交えて効果的に発信できた。今後は、庁舎利用案内の掲載もれをなくするため、掲載ルールの周知徹底を図る。 ・キャッシュレス決済端末の導入により、施設使用料の収納について、現金の他、クレジットカード、電子マネー、QRコードなど多様な決済が可能となり利便性が高まった。収納割合向上のため、広報周知し、利用率の向上を図る。 							

デジタル実装タイプ

2 スマート図書館整備事業								
事業期間	令和	6	年度					
効果測定期間	令和	6	年度	～	令和	8	年度	
目的 (効果)	現状、山県市図書館は、本館と1分館にて対面による貸出サービスを実施している。しかし、居住地域による図書館へのアクセス性や事前登録の貸出カード持参による対面貸出しというスタイルにより、利用者が固定化している。そこで誰もが利用しやすい図書館を目指し、利用者の拡大に向けて、電子書籍サービスの導入、図書カードのデジタル化、セルフ貸し出し及び読書記録帳の機能拡充を実装し、図書貸出サービスの利便性向上を図る。							
事業費 (千円)			R6	R7	R8			計
	決算額		22,697	0	0			22,697
	交付金		11,348	0	0			11,348
具体 サービス	①電子書籍サービスの導入 ②スマホ利用者カード ③セルフ貸出機能 ④読書記録帳							
事業目標 (KPI)	①電子書籍サービス対応書籍数(冊)				②新規利用者登録におけるスマホ利用者カード発行の割合(%)			
		R6	R7	R8		R6	R7	R8
	KPI	400	500	600	KPI	30	50	60
	実績値	400			実績値	100		
	③貸出冊数全体に占めるセルフ貸し出しの割合(%)				④新規利用者登録における電子読書記録帳の発行数の割合(%)			
		R6	R7	R8		R6	R7	R8
	KPI	50	55	60	KPI	35.00	50	60
	実績値	48			実績値	31.00		
	⑤電子書籍サービスの利用者満足度(ポイント)				⑥スマホ利用者カードの利用者満足度(ポイント)			
		R6	R7	R8		R6	R7	R8
	KPI	3.0	3.5	4.2	KPI	3.0	3.5	4.2
	実績値	3.7			実績値	3.7		
⑦セルフ貸し出し機能の利用者満足度(ポイント)				⑧読書記録帳の利用者満足度(%)				
	R6	R7	R8		R6	R7	R8	
KPI	3.0	3.5	4.2	KPI	3.0	3.5	4.2	
実績値	4.4			実績値	4.4			
⑨人口1人当たり貸出冊数(冊)								
	R6	R7	R8					
KPI	0.72	0.75	0.80					
実績値	0.70							
事業成 果、得ら れた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍サービスの導入により、利用者はいつでもどこでも電子書籍を閲覧でき、音声読上機能や、文字・背景色の変更が可能となり、利便性が高まった。継続的に利用してもらうため、電子書籍コンテンツをより拡充し、サービスの充実を図る必要がある。 スマホ利用者カードの導入により、カード忘れ対応件数が低減され、貸出業務の効率化が図れた。今後はスマホカード未利用者に利便性を伝え、周知していくことが必要。 セルフ貸出機能の導入により、利用者が気兼ねなく貸出手続きができ、職員の窓口業務の負担が軽減した。さらなる貸出冊数の向上に努めていきたい。 読書記録帳の導入により、貸出履歴を記帳できるようになり、本を借りる意欲向上が図られた。貸出冊数向上や来館者増加につなげたい。 							

デジタル実装タイプ

3 市民向け行政サービスをまとめてDX事業								
事業期間	令和	5	年度					
効果測定期間	令和	5	年度	～	令和	7	年度	
目的 (効果)	<p>R4年度に全庁DX推進体制を立ち上げ、全業務ヒアリングと業務分析を行い課題を抽出、DXアクションプランを作成した。R5年度は、この全庁的なDX推進機運をさらに高め、DXによる行政サービス改革を進めるため、分野横断的にアクションプランを実行していく。</p> <p>取組内容は、行政サービスの利便性向上のため、住民との直接接点である窓口関係と、住民とのデジタルの接点である情報発信関係を一体的、複合的に進めることで、広く住民に対してDXの恩恵を実感してもらい、地域のDX推進機運をも高めることを目指す。</p>							
事業費 (千円)		R5	R6	R7			計	
	決算額	47,809	0	0			47,809	
	交付金	23,904	0	0			23,904	
具体 サービス	<p>①窓口申請支援サービス ②遠隔窓口システム ③手数料決済キャッシュレスシステム ④WEB口座振替受付サービス ⑤LGWANファームバンキングシステム ⑥公式LINE運用ツールと各種システム連携 ⑦献立作成クラウドシステム</p>							
事業目標 (KPI)	①【窓口申請支援サービス】利用者満足度（ポイント）			②【遠隔窓口システム】利用者満足度（ポイント）				
		R5	R6	R7		R5	R6	R7
	KPI	3.0	3.5	4.0	KPI	3.0	3.5	4.0
	実績値	4.6	4.4		実績値	5.0	4.0	
	③【手数料決済キャッシュレスシステム】利用者満足度（ポイント）			④【WEB口座振替受付サービス】利用者満足度（ポイント）				
		R5	R6	R7		R5	R6	R7
	KPI	3.0	3.5	4.0	KPI	3.0	3.5	4.0
	実績値	4.8	4.7		実績値	3.7	4.1	
	⑤【LGWANファームバンキングシステム】利用者満足度（ポイント）			⑥【公式LINE運用ツールと各種システム連携】利用者満足度（ポイント）				
		R5	R6	R7		R5	R6	R7
	KPI	4.0	4.5	4.7	KPI	3.0	3.5	4.0
	実績値	4.8	4.8		実績値	3.6	3.4	
⑦【献立作成クラウドシステム】利用者満足度（ポイント）								
	R5	R6	R7					
KPI	3.0	3.5	4.0					
実績値	4.2	4.2						
事業成 果、得ら れた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口申請27帳票について、手書きの必要がなくなり、手続きの負担が軽減された。 ・ビデオ通話環境の整備により、支所・出張所で対応できなかった申請・相談が可能となり利便性を高めた。 ・証明書発行手数料について、クレジットカード、電子マネーなど多様な決済が利用できるよう利便性を高めた。 ・口座振替の申込みを、スマホやPCから実施できるよう、利便性を高めた。 ・取引金融機関とのデータのやり取りをオンラインで実施できる環境を整え、業務効率の向上と情報紛失リスクの低減が図れた。 ・LINE公式アカウントを運用できる環境を整え、多様な情報発信やオンライン申請の入り口とすることで、利便性を高めた。 ・学校給食で提供されているメニューを公式LINEで発信することで、家庭での食事作りの参考になると高評価を得られた。 							

4 有線テレビケーブルを活用した農業用水利施設の遠隔監視と水門の遠隔操作								
事業期間	令和	5	年度					
効果測定期間	令和	5	年度	～	令和	7	年度	
目的 (効果)	<p>実施地域は2つの一級河川の合流地点にあたり、地形を利用した頭首工が設置され河川の水をかんがいに利用しています。しかし、その反面、豪雨時には冠水する可能性が高く、頭首工の水門開閉が重要となっています。河川、頭首工の状況を遠隔で確認し、市職員による手動水門開閉を電動化、遠隔操作とすることで、迅速、的確な管理が可能となり、地域の冠水リスクを低減させ、地域住民の安心安全と農作物への被害低減を図ります。</p>							
事業費 (千円)		R5	R6	R7				計
	決算額	79,858	0	0				79,858
	交付金	39,929	0	0				39,929
具体 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔監視・遠隔操作 水門電動化及び遠隔操作設備工事 遠隔監視設備工事 							
事業目標 (KPI)	①水門開放要求の件数 (件)							
		R5	R6	R7				
	KPI	0	0	0				
	実績値	0	0					
	②地域農地の冠水被害件数 (件)							
		R5	R6	R7				
	KPI	0	0	0				
	実績値	0	0					
	③サービスの満足度 (ポイント)							
	R5	R6	R7					
KPI	3	4	5					
実績値	未計測	4						
事業成 果、得ら れた知見 ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの一級河川の合流地点にあたり、河川水位の状況及び頭首工の開閉状態をリアルタイムに把握できた。 ・河川、頭首工の状況を遠隔で確認し、市職員による手動水門開閉を電動化、遠隔操作とすることで、迅速、的確な管理が可能となり、地域の冠水リスクを低減させ、地域住民の安心安全と農作物への被害低減が図れた。 							

令和6年度 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業(企業版ふるさと納税)効果検証

1. 企業版ふるさと納税活用事業の概要

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し、企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みです。本市では、地方創生プロジェクトとして「自然と活力調和プラン(第3次山縣市総合計画・山縣市デジタル田園都市国家構想総合戦略)」を策定し、令和6年度に12つの企業から物納を含み合計511万円の寄附をいただきました。詳細は以下のとおりです。

2. 基本事項

総合戦略 施策体系	基本目標	①	希望を持ち豊かに暮らすひとづくり
		②	生き生きと安心して働けるしごとづくり
		③	自然との融和を目指すまちづくり

事業内容

目標	事業名	歳出額(千円)	寄附額(千円)	寄附企業
①	総合教育支援事業	48,660	100	株式会社 Grant
	遺跡発掘調査事業	14,972	100	株式会社木の国
非公表			加藤精工株式会社	
②	担い手確保経営強化支援事業	5,000	100	タレントスクエア株式会社
	山県未来のまちづくり パートナーシップ事業	1,000	非公表	株式会社 テイコク
	治山林道事業	6,000	1,000	株式会社 尾張紙業
③	高富児童館 エアコン改修事業	528	100	株式会社 ダイナ建築設計
	美山中央公民館 ホール照明 LED 改修事業	1,100	500	株式会社 アクティブワン
	こどもサポートセンター 会計年度職員人件費	19,106	非公表	株式会社 エイチーム
	ごみ処理事業	177,064	100	株式会社 STAYGOLD
	消防・防災対策の充実	87,086	非公表	株式会社 ソルボックス
			非公表	グローバル・ファシリ ティズ株式会社
美里会館各種事業	1,287	非公表	加藤精工株式会社	

3. 事業の成果等

指標(KPI)	No.	指標名	R4 基準値	R6 実績	R9 目標
	1	転出超過数(人)	147	92	88
	2	バスターミナル 乗降者数(人/日)	221	267	297
	3	交流人口(人)	581,694	629,860	650,000